



阪急電鉄京都線（摂津市駅付近）連続立体交差事業 鉄道工事説明会

事業概要

令和7年12月

大阪府・摂津市・茨木市
阪急電鉄株式会社

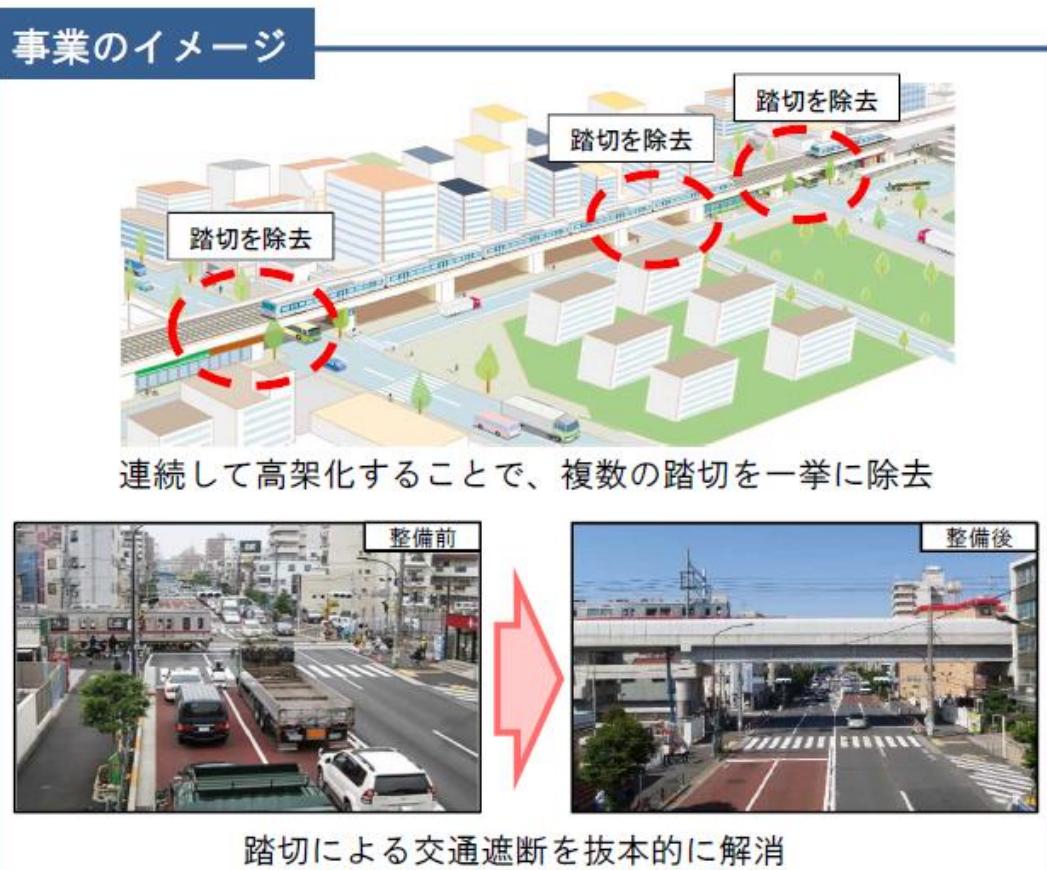
※写真はイメージです

説明内容

1. 連続立体交差事業について
2. 事業概要
3. 事業経過
4. 工事区間
5. 鉄道工事の進め方
6. 事業スケジュール

1. 連続立体交差事業について

- 連立事業・・・鉄道を連続的に高架化することで、複数の踏切を一挙に除却し、「交通の円滑化」と「都市の活性化」を図る事業
- 事業効果・・・① 踏切除却による踏切事故の解消
② 開かずの踏切除却による交通渋滞の解消
③ 市街地の一体化による地域の活性化



概要

道路整備の一環として鉄道を連続的に高架化または地下化し、複数の踏切を一挙に除却

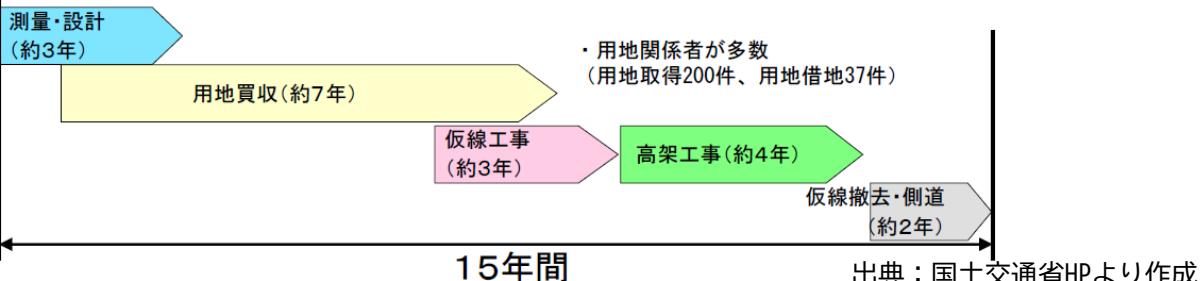
事業効果

- ①踏切除却による踏切事故の解消
- ②開かずの踏切除却等による交通渋滞の解消
- ③鉄道により分断されている市街地の一体化による地域の活性化

市街地の一体化による地域の活性化

連続立体交差事業の流れ（例）

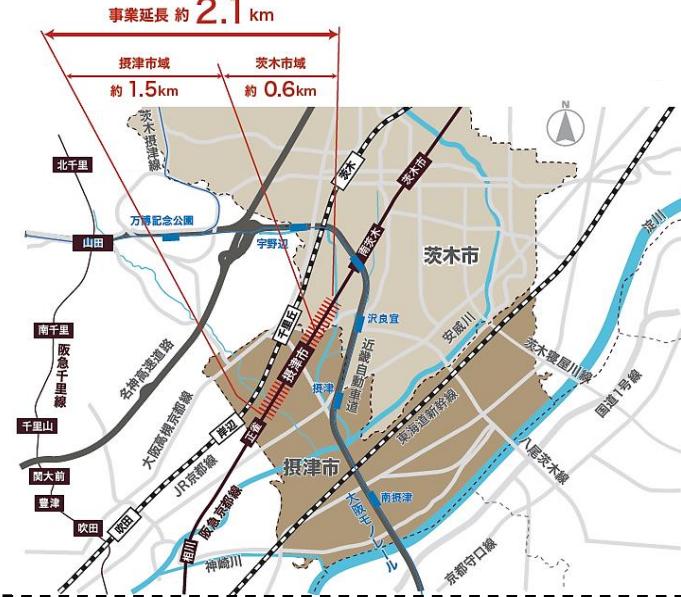
J R中央線連続立体交差事業（東側区間）の場合



2. 事業概要（阪急京都線（摂津市駅付近）連立事業）

(1) 事業概要

- ◆事業延長：約2.1km
(摂津市域 約1.5km、茨木市域 約0.6km)
 - ◆踏切除却数：5箇所
(うち「開かずの踏切」1箇所)
※開かずの踏切：ピーク時間の遮断時間が1時間あたり40分以上の踏切
 - ◆高架対象駅：1駅（摂津市駅）



（2）事業の目的

平成22年3月に開業された摂津市駅周辺の踏切では、「開かずの踏切」などにより慢性的な交通渋滞が発生し、鉄道により地域が分断されるなど、地域活動の支障となっています。そこで、連続立体交差事業により、鉄道を高架化し、5箇所の踏切を一挙に除却することで、交通渋滞や踏切事故の抜本的な解消、市街地の一体化により、地域の活性化を図る事業です。

（3）事業の効果

- **道路交通の円滑化**（交通渋滞、踏切事故の解消）
 - **交通結節機能の強化**（駅前広場の整備）
 - **高架下空間の利活用**（店舗、駐輪場、地域活動など）
 - **沿線地域の環境改善**（側道整備、地域分断の解消）



3. 事業経過

平成29年2月 : 都市計画決定

平成30年2月 : 都市計画事業認可

令和元年～ : 用地取得

令和5年～ : 準備工事

(付替道路、文化財調査、支障物件移転工事等)

令和8年～ : 鉄道工事着手

<参考：用地取得状況>

(令和7年11月末時点)

①用地取得面積	②全体事業面積	用地取得率 (=①/②)	残件数
約19,900m ²	約21,300m ²	約93%	約36件 <small>※借家人含む</small>

(土地所有者のみ14件)

4. 工事区間

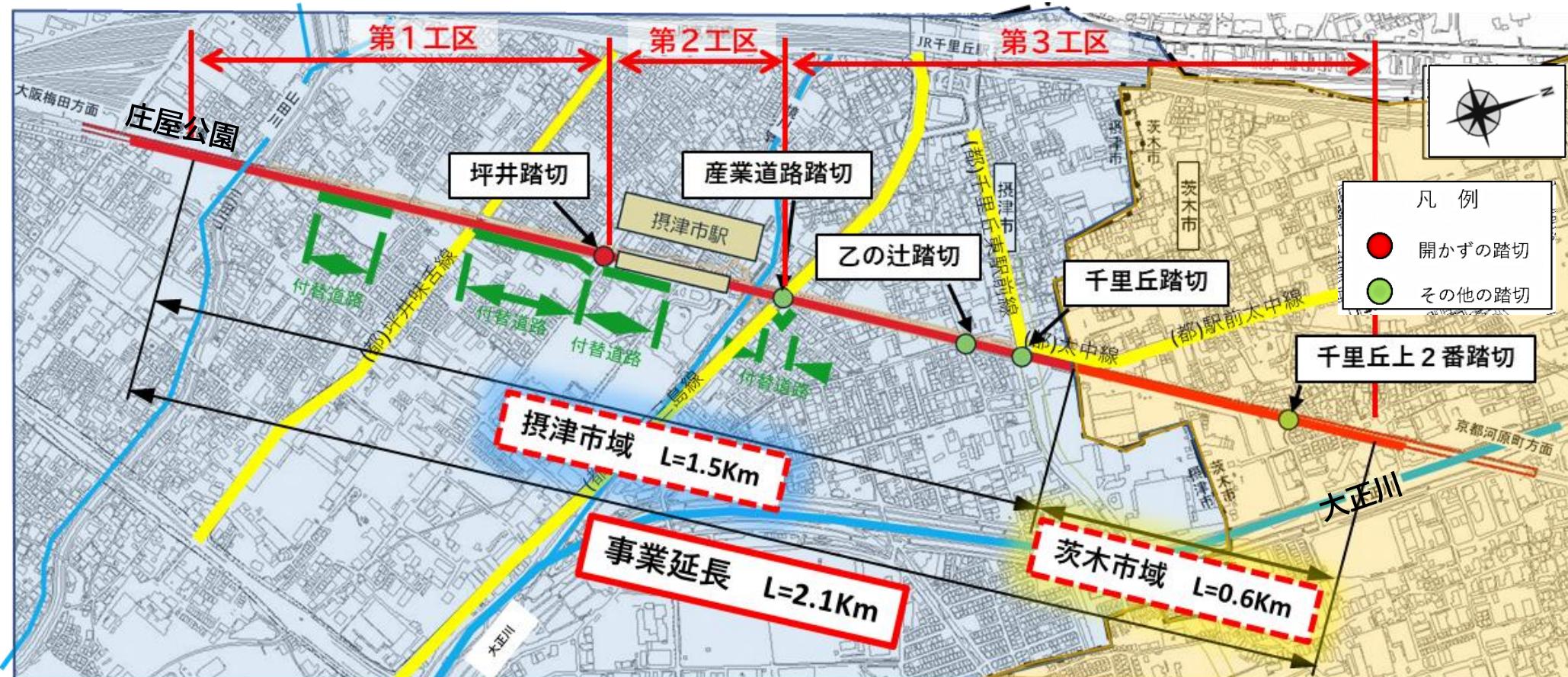
○事業区間となる、「摂津市庄屋1丁目～茨木市丑寅2丁目」間の約2.1km、3工区に分けて鉄道工事を実施

<受注者>

【1工区】 鹿島建設・鉄建建設JV ※摂津市庄屋～坪井踏切

【2工区】 西松建設・ハンシン建設JV ※坪井踏切～産業道路踏切

【3工区】 大林・フジタJV ※産業道路踏切～茨木市丑寅

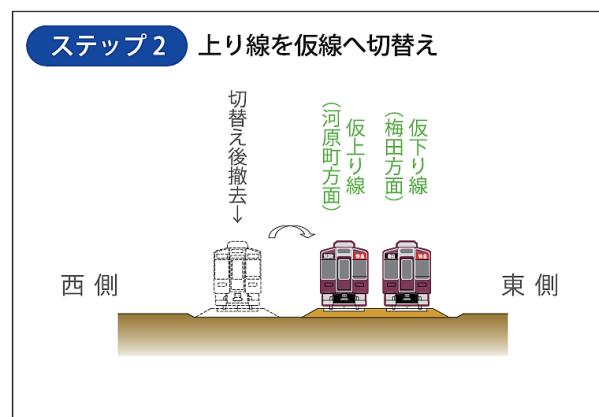
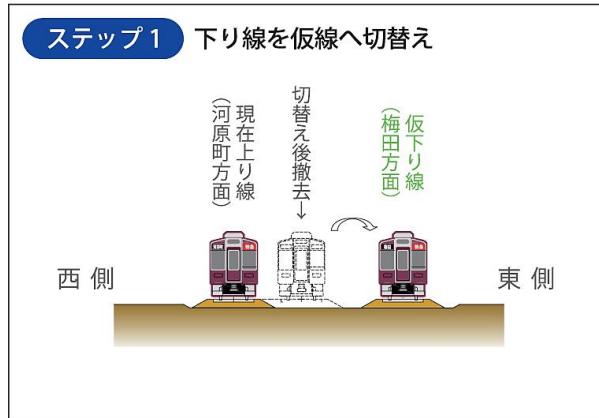


5. 鉄道工事の進め方

- 鉄道工事は、「仮線方式」により実施
⇒現在線を仮の線路に切り替え、現在線用地に新しい高架橋を作る施工方式
- 工事の順番は、
①仮線工事 ⇒ ②高架化工事 ⇒ ③環境側道 の順に実施

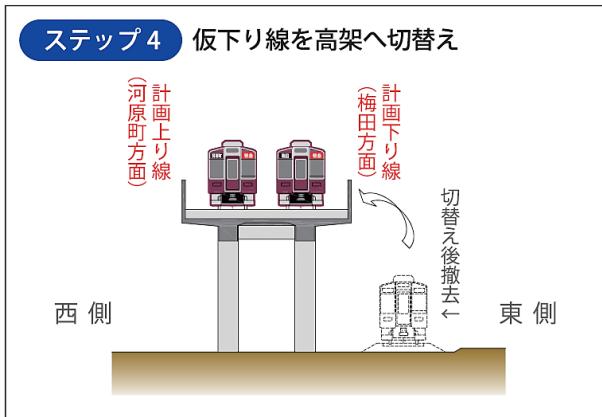
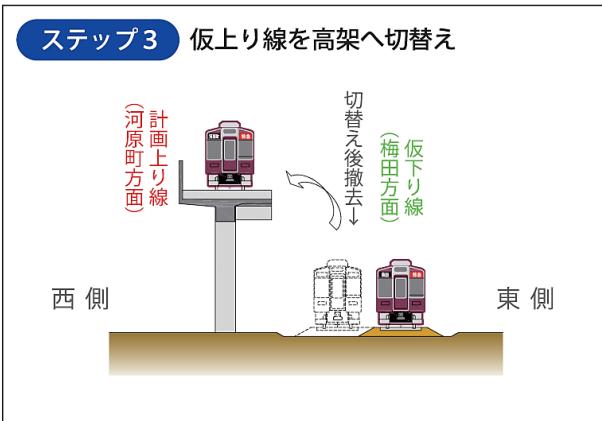
<①仮線工事>

- ・現在線の横に仮線を敷設し切替



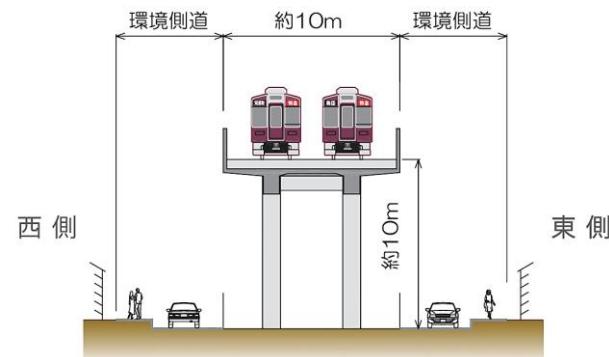
<②高架化工事>

- ・現在線用地に高架橋を建設し、仮線から切替え



<③環境側道>

- 高架化後、環境側道を整備し、事業は完了



6. 事業スケジュール

事業工程

令和7年12月現在 ※今後の進捗に応じて変更になる可能性があります。

